

第 130 回東邦医学会例会プログラム

平成 19 年 6 月 14 日 (木) 午後 1 時～3 時 45 分

平成 19 年 6 月 15 日 (金) 午後 1 時～4 時 46 分

東邦大学医学部大森臨床講堂 (5 号館 B1)

6 月 14 日 (木)

開会の辞——— 小児科学第 1 講座教授 佐地 勉

A. 大学院学生研究発表

座長：高松 研教授 (細胞生理学) 1～3 席 (1:00—1:45)

1. 着床期特異的蛋白 glycodelin による子宮内膜腺上皮細胞の増殖機能制御 (10 分)

太田邦明 (外科系), 指導教授：伊藤元博教授／森田峰人教授 (産婦人科)

2. 大脳皮質の層構造異常が及ぼす血管構築変化の検討：数理的解析およびマイクロアレイ解析を用いて (10 分)

村田 望 (機能系), 指導教授：山口恵三教授 (微生物・感染症学)

3. Atorvastatin の脊髄前角細胞保護作用の検討 (10 分)

村田 (平野) 貴代子 (内科系), 指導教授：岩崎泰雄教授 (大森神経内科)

座長：杉本元信教授 (総合診療・急病科) 4～6 席 (1:45—2:30)

4. 総合診療科外来における胃食道逆流症状の検討 (10 分)

渡邊利泰 (内科系), 指導教授：三木一正教授 (大森消化器内科)

5. EBV 感染と胃癌の形質発現 (10 分)

平野直樹 (内科系), 指導教授：三木一正教授 (大森消化器内科)

6. 接着因子含有フィブロインスポンジを用いた軟骨再生の研究 (10 分)

五十嵐昇 (外科系), 指導教授：勝呂 徹教授 (第 1 整形外科)

座長：川合眞一教授 (膠原病科) 7～9 席 (2:30—3:15)

7. 自然発症糖尿病ラットに対するオルメサルタンの効果 (10 分)

山岸泰道 (内科系), 指導教授：山崎純一教授 (大森循環器内科)

8. ウサギ陰茎海綿体における ATP 誘発反応の解析 (10 分)

片岡和義 (外科系), 指導教授：石井延久教授 (泌尿器科)

9. Hemeoxygenase-1 (HO-1) はマウスの糖尿病性心筋症による心機能低下を軽減する (10分)

木内俊介 (内科系), 指導教授: 山崎純一教授 (大森循環器内科)

座長: 山口恵三教授 (微生物・感染症学) 10～11席 (3:15—3:45)

10. 白色家兎緑内障濾過術モデルを用いた2%トラニラスト点眼の臨床応用の検討 (10分)

片山雄治 (外科系), 指導教授: 枡久保哲男教授 (第1眼科)

11. 石灰化沈着発生の眼内レンズ素材別比較実験 (10分)

中目沙衣子 (外科系), 指導教授: 枡久保哲男教授 (第1眼科)

6月15日 (金)

当番教室: 皮膚科学第1講座・小児科学第1講座

B. 一般演題

座長: 清木義勝教授 (第1脳神経外科) 1～2席 (1:00—1:18)

1. 視神経管骨折に伴って発生した左内頸動脈解離性動脈瘤の1例 (7分)

○植草啓之, 後藤昌三, 森岡暁子, 榊田博之, 野本 淳, 青木美憲

原田直幸, 坂田義人, 本多 満, 周郷延雄, 清木義勝 (1脳)

2. 当院リハビリテーション科における言語聴覚・嚥下療法の対象者分類 (7分)

○神橋 昭, 大国生幸, 牛込伸行, 内 昌之, 原田 孝 (大森リハ)

丸山 優 (形成)

土谷一晃, 勝呂 徹 (1整)

座長: 石井延久教授 (泌尿器科) 3～4席 (1:18—1:36)

3. 非小細胞肺癌における再発・予後の検討: 免疫組織染色とEGFR 遺伝子変異解析を用いて (7分)

○杉下雄為, 長島 誠, 瓜田 祐, 加藤良二 (佐倉外科)

川島辰男 (佐倉内科)

亀田典章 (佐倉病理)

4. トロメタモール尿路内直接投与による尿管結石溶解療法の3例 (7分)

○永田雅人, 神戸茂樹, 山辺史人, 高杉啓一郎, 片岡和義, 小林秀行, 大平 直

中島耕一, 栗田 稔, 原 啓, 永尾光一, 石井延久 (大森泌尿器)

C. 平成 18 年度プロジェクト研究報告

座長：石井延久教授（泌尿器科）5 席（1：36—1：46）

5. 受精現象における新規カルシウム結合蛋白質の機能解析（8 分）

○三輪尚史, 小林正明（細胞生理）

座長：杉 薫教授（大橋循環器内科）6～8 席（1：46—2：16）

6. 高血圧心不全モデルラットにおける bFGF による心室リモデリング抑制とその機序（8 分）

○鈴木健也, 久武真二（大森循内）

7. 安定同位体 ^{13}C を用いた栄養代謝の評価（8 分）

○瓜田純久（総診）

鷲沢尚宏（NST）

8. 呼吸器疾患と胃食道逆流症に関する疫学的検討（8 分）

○太田宏樹, 岩田基秀（総診）

榎本崇宏（大森呼内）

座長：舘田一博准教授（微生物・感染症学）9～11 席（2：16—2：46）

9. メタロβラクタマーゼ産生菌の解析およびその報告システムの構築（8 分）

○石井良和（微生・感染）

岩田守弘（大森臨検部）

木村一博（大森呼内）

10. 細菌の情報伝達機構をターゲットとした新しい感染症治療法に関する研究（8 分）

○上田千尋（微生・感染）

吉澤定子（総診）

11. 先天性銅代謝異常症に対する遺伝子診断の有効性とその適応に関する研究（8 分）

○清水教一, 北(渡辺)温子（2小児）

D. 特別講演

座長：中野 元准教授（大森循環器内科）12 席（2：46—3：16）

12. Brugada 症候群の診断と対処法の決定（30 分）

内科学講座（大橋）循環器内科教授 杉 薫

座長：住野泰清教授（大森消化器内科）13 席（3：16—3：46）

13. 胃癌治療の変遷：QOL 向上を目指した胃癌手術（30 分）

外科学第 3 講座教授 長尾二郎

シンポジウム（3：46—5：16）

企画・担当：皮膚科学第 1 講座・小児科学第 1 講座

『川崎病』

司会：伊藤正俊教授（第 1 皮膚科）

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1) 川崎病の皮膚症状 | 関東 裕美（第 1 皮膚科） |
| 2) 川崎病急性期のガンマグロブリン療法と副作用 | 鈴木えり子（大森薬剤） |
| 3) 川崎病患者における血中アディポサイトカイン | 監物 靖（第 1 小児科） |
| 4) 川崎病血管炎の病理 | 大原関利章（大橋病理） |

閉会の辞——— 皮膚科学第 1 講座教授 伊藤正俊

-
- 注 1) 大学院学生研究発表、一般講演、プロジェクト研究報告の演者の先生は、必ず例会当日までに講演抄録（400 字程度）と *Keywords（英語 3 語以内）を e-mail にてお送りください（送り先：igakukai@med.toho-u.ac.jp）。* 東邦医学会雑誌総索引では Keywords が入りますので、適切な用語を選んで下さい。
- 2) シンポジウムの先生は、例会当日より 4 週間以内に 3200 字程度に総説としてまとめて提出してください。
- 3) 特別講演の先生は、例会当日より 4 週間以内に 4000 字程度に要旨をまとめて提出してください。
- （注 1～3 とも東邦医学会雑誌近刊号に掲載の予定ですので、必ずお願いします。
2, 3 につきましては、詳細を受付におたずねください。）